

週間漁海況情報—第34号

平成22年09月06日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.9.6）を示した。

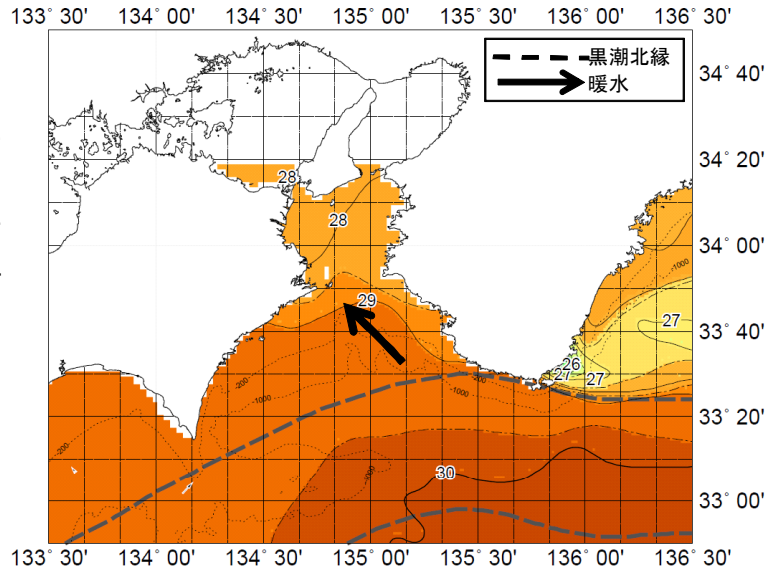
黒潮は、室戸岬沖で接岸し、潮岬では著しく接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖で離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、29～30℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が27℃台、紀伊水道が28℃台、海部沿岸が28～29℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県側から徳島県側へ緩やかな暖水波及がある。

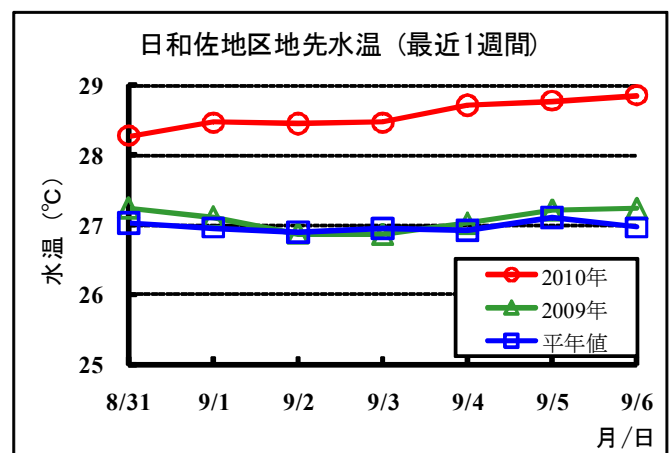
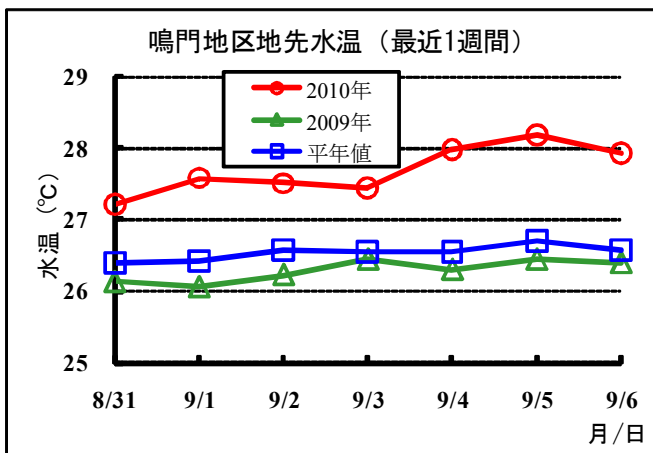
漁業調査船「とくしま」により9月3日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～20m層で「やや高め」の26.5～28.6℃、30m層で「平年並み」の25.3℃であった。



播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
9/3	今年値	28.6	27.6	26.5	25.3	31.4	31.5	31.6	31.5
	平年偏差	1.4	1.2	0.5	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3
	前年偏差	2.3	1.5	0.5	-0.6	-0.5	-0.5	-0.4	-0.5

地先水温 最近1週間の地先水温は、各地区とも「やや高め」～「高め」であり、鳴門地区は27.2～28.2℃、日和佐地区は28.3～28.9℃、牟岐地区は28.2～29.8℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、小主体にカマス類が0.6トン(1日1隻当たり24kg)、キビナゴが1.1トン(同181kg)、ゴマサバが0.7トン(同31kg)、ニザダイが0.2トン(同69kg)、小主体にマアジが0.2トン(同13kg)、マルソウダが0.4トン(同14kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.3トン(同17kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.5トン(同24kg)、タチウオが0.5トン(同15kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが20.8トン(同221kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 08月30日~09月05日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	カマス類	25	604	24	小主体
		キビナゴ	6	1,087	181	
		ゴマサバ	21	653	31	
		ニザダイ	3	207	69	
		マアジ	19	241	13	小主体
		マルソウダ	27	383	14	
釣り	紀伊水道	イサキ	20	339	17	
		サワラ	19	454	24	中主体
		タチウオ	33	495	15	
パッチ網		シラス	94	20,800	221	

週間予報：黒潮は室戸岬沖と潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」～「高め」の28℃台、日和佐地先は「やや高め」の28℃台で推移する見込み。